令和3年度第3回青梅市障害者地域自立支援協議会会議録

令和3年12月2日（木）

午後2時00分～午後4時00分

市役所2階201.202会議室

出席：宮崎会長、加藤副会長、渡邊委員、下地委員、石井委員、岡本委員、古久保委員、大沼委員、大栗委員、白井委員、市川委員、及川委員、松村委員、星野委員、厚澤委員、細川委員、遠藤委員

欠席：朝長委員、野村委員

1 開会

障がい者福祉課須崎課長

2 あいさつ

宮崎会長

3 報告事項

- (1) 障がいのある人も障がいのない人もその人らしく暮らせる共生のまち青梅市条例について (資料1)

・リーフレットについて

(事務局) 令和3年4月1日青梅市の差別解消条例として施行しました。

このたび、条例の内容を説明するリーフレットを別紙のとおり作成しました。商工会議所の協力を得て、2,400の市内事業者にメーリングリストで周知します。

(主な質疑、意見等)

- ・紙面の制約などもあると思うが、知的障害、発達障害の方や難病の方についての例示なども載せていただけるとよいと思う。
- ・文字が多い、小金井市のリーフレットは、絵で比較などわかりやすくなっている。別途予算化ができるのであれば、漫画等で工夫してはどうか。小中学校で配布するのであれば、ちょっと読んでみようかなと思うよう、鮮やかな色合いで作っていただければ良いのでは。
→イラストが少ないことは改善すべき点ととらえています。今回のリ

リーフレットは、条例の内容の紹介として作成しました。様々な対象ごとに合理的配慮の内容は変わってくるため事例を挙げ、差別解消、権利擁護部会にも図りながら1、2種類のリーフレットを作成していきたいと考えています。

- ・子ども向けにどの程度意識されたか？今後、小学校に対する福祉教育のためにもご一考戴ければ有難いです。そのためにも、予算の確保は大切である。それを要求する役割がこの自立支援協議会にはあるのではないか。

→今回のリーフレットは、条例がどういうものであるかの周知、行政向け、民間事業者向け、一般向けに作成したものです。今後、当事者の方の意見を聴取するなど、わかりやすいものを作成してまいります。

- ・青梅市の合理的配慮についての説明パンフレットは今後作っていくという認識でよろしいか。相談窓口の記載は、わかりやすい場所で、枠の中に表記していくように検討していただきたい。

→事例を例示するなど、だれにでもわかりやすいリーフレットを作成していきます。

- ・ある程度案ができたところで、メールのやり取りでもよいので協議会に諮って意見を聴取していただければ、より良いものができるのでは。

- ・このリーフレットは、健常者向けに作られているかと思う。可能であれば、障害のある方が、「あ、我慢しなくていいんだ」、「こういうサービスが受けられるんだ」といった、条例に則った、障害のあるも健常の人も、やさしく読めるリーフレットがあるといいと思う。

・青梅市障害を理由とする差別解消支援地域協議会について
(事務局) 差別解消・権利擁護部会で委員構成を検討し、2月の協議会に諮問の予定。

(2) 東京都障害者自立支援協議会交流会参加報告および東京都障害者自立支援協議会セミナー視聴について (資料2・3)

- ・ 9月27日（月）交流会・・・事務局参加報告
- ・ 12月13日（月）セミナー・・・13時20分から市役所で視聴

(3) 市内における虐待通報等の状況および対応について（資料 4）
（事務局）資料にもとづき説明。

（主な質疑、意見等）

- ・ 青梅市の差別解消条例も作ったところで、虐待対応についても非常に大事であると思う。障害福祉施設での虐待については、支援すべき職員による虐待は許されないと思う。施設だけではなく、学校においても虐待が問題になり議論されることがある。虐待は、日ごろからそういう土壌がなかったか、周りが見て見ぬふりをしていなかったかを確認するべきであると思う。都に報告をしたとのことであるが、継続して虐待や差別に対し、厳しい対応をしていくことが大切だと思う。
- ・ 被虐待者の年齢など、もう少し具体的な情報を、自立支援協議会の委員として把握したいと考えるが皆さんはどうか。
→表を見やすくわかりやすく、という御指摘がありました。提供できる範囲の資料を準備していきます。
- ・ 通報は、年度ごとに集計しているのか。今後青梅市で、障害者虐待をテーマにデータを分析し、傾向を把握して、自立支援協議会か、検討部会などで議論することで変わっていくのではないかと思う。
→年度ごとのデータ化はあります。一件一件違う内容や原因であると思うので、改めて協議の場で諮らせていただき、分析して還元することによって再発防止につなげていくことは重要であると考えてるので、わかりやすい資料作りに努めてまいります。
- ・ 青梅市も120人くらい都外施設に入所している人がいる。その人達虐待の情報は入ってきていないか。
→何年か前に、大規模な虐待案件で警察に通報もあった施設では、青梅からの入所者もいた。援護の実施機関が調査をする事になっているため、例えば北海道の施設であった場合は、なかなかすぐに

駆け付けることは困難ではあると思います。

- ・別の市の協議会に参加した時に、2016年から2020年のうちに、39名が移動の車の中で性的虐待を受けたということを取り上げたことがあった。どこでも虐待が起こる可能性がある。遠方の施設に入所するとなかなか戻ってこられない。個人情報の問題もあり難しいと思うが、見えるような形で資料をだしていただきたい。
- ・障害者虐待の他の虐待の問題はどこで対応しているのか。様々な問題が複雑に絡んでいるため、連携しているのか。
→子どもについては子ども家庭支援課、高齢者については、包括支援センターなど、それぞれの部署で対応しています。障がい者が関わる内容であれば、個々の案件において、情報共有、連携して対応しています。
- ・保健所では、精神障害のケースかつ多問題家族、虐待が疑われるため障がい者福祉課、高齢者支援課等参加のもと対応を検討した。
- ・青梅市市内では新規のグループホームが開設されている。グループホームは小さい事業所かつ閉鎖的な空間であり、利用者も苦情を言いつらい。少ない職員体制での運営となるし、力量以上の受け入れをして虐待が起こるリスクもあると思う。事業所監査は是非定期的に行っていただきたい。

(4) 専門部会からの報告

- ・日中活動・就労支援部会

今年度中止となった障害者理解推進企業見学会について、コロナ禍でも実施できることはないか意見を出し合った。

1月24日に、放課後等デイサービス事業所連絡協議会を集合で開催予定。

医療的ケア児の協議会は、合同部会に、外部委員を入れていく必要がある。

- ・相談支援部会

本日協議会終了後に打ち合わせ予定。

- ・差別解消・権利擁護部会

今年度中に部会開催予定。

(5) その他

- ・日中活動支援型グループホーム「ふわふわ青梅」開設予定時期について

当初12月開設 → 1月に延期

協議会での見学は、今後調整して連絡します。

- ・令和3年度青梅市新型コロナウイルス感染症対策買物代行サービス事業について

1回につき、本人負担は300円。現在、申請者は34名。4枚の買物券を使い切ったら、1か月4枚の追加交付を行っています。今後事業の周知を図っていきます。

- ・障害福祉サービス事業所等の職員等に対するPCR検査実施事業について

市内事業所（入所施設を除く）2回まで。（令和4年3月22日〆切）12月31日までの事業が3月末までに延長となりました。

- ・障害児通所支援事業所におけるPCR検査の実施について

児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所で陽性者が発生した場合、濃厚接触者とされなかった人も検査できます。障がい者福祉課に連絡をお願いします。

4 その他

(1) その他

後日、会議録（案）を送付しますので、発言か所等に修正がある場合は、事務局まで御連絡をお願いします。

(2) 次回委員会の開催について

第4回青梅市障害者地域自立支援協議会

令和4年2月28日（月）午後5時45分～午後7時45分

青梅市役所2階 204・205会議室